

激動する中東情勢… イスラム国がもたらす危機

千葉大学教授
酒井啓子

- *イラク戦争後に増えだした誘拐ビジネス
- *ヨルダンが狙われた理由
- *イスラム国が仕掛ける囚人解放要求の意味
- *イスラム国の誕生から膨張への経緯
- *アルカイダ系テロ集団との違いは何か
- *イスラム国の最大の問題点
- *有志連合の底流にある米国の疑心暗鬼
- *イスラム教内の宗派対立の様相
- *世界中から戦闘員が流入する理由
- *周辺国の思惑は四分五裂の状態



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はたいへんタイミングがいいというか、本場にホットなところで中東のお話を伺えるということになりました。残念ながら雪模様で足元が悪いんですが、お集まりいただいたいへんありがとうございます。

ご存じのように酒井先生は、東大を卒業された後、アジア経済研究所に入られてイラク、カイロ、エジプトといったところで仕事をされ、その後、東京外国語大学を経て、今、千葉大学で教鞭をとっておられます。

石油の問題から始まり、年が明けてイスラム国の人質問題やサウジの政権交代とか、さまざまな問題が中東で今大きなうねりとして出てきております。今日はテレビのような目先の話で

はなくて、少し全体像をお話しただけというところでございますので、じっくりお聞きいただきたいと思えます。

それでは先生よろしく願います。（拍手）

酒井 ご紹介にあずかりましてありがとうございます。酒井でございます。

本日はお足元の非常に悪い中、そしてたぶんここで私の話を聞いているよりもテレビで速報を見ていたほうが情勢がわかる気もいたしますが、今ご紹介にありましたように、人質問題が焦眉の問題となっております。ただ、それだけを取り上げますと日本人だけ助かれればそれでいいのか、ということになりかねません。どうも最近のメディアはそういうようなムードになっ